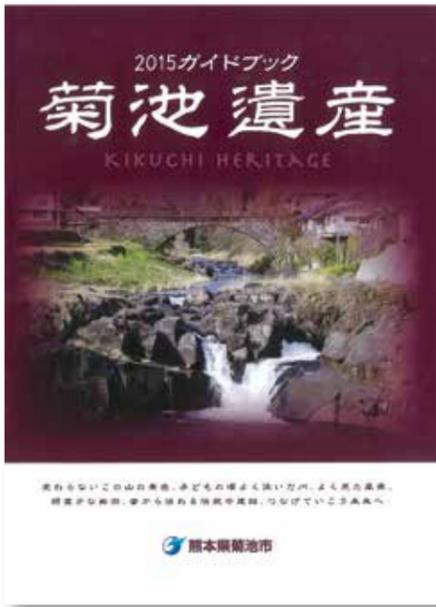


菊池遺産を募集します

菊池の豊かな自然や伝統ある文化を未来へ受け継いでいく「菊池遺産」を募集します。
推薦対象 市内にある有形・無形の伝統ある文化や豊かな自然など地域の宝で、建造物・史跡・名所・芸能・自然・風景・食文化など。
条件 次の全ての要件を満たすこと。
▼菊池を特徴付け、将来に残す価値があるもの。
▼地域住民などにより保護されているもので、認定以後も保護され地域の振興に活用されるもの。

推薦者 行政区や各種団体など
※個人や宗教団体または政治的な目的を持つ団体を除く。
必要書類 複数ある場合はそれぞれ作成してください。
▼推薦書
▼位置図
▼写真その他参考書類
▼所有者などの各種同意書
※推薦書と同意書は応募先に設置しています。ホームページからもダウンロードできます。
募集期限 8月31日(月)
応募先 企画振興課(菊池中央公民館3階)、各総合支所総務民生課



2015 菊池遺産ガイドブック

喜びを共有できる、ふるさとを

20数年前の、身近なところでの出来事です。「あそこに遊びに行くけん、言葉づかいの悪くなる。遊びに行くな」。これは、小学五年生の少女が、家庭生活で交わされた言葉を作文に書いたものです。この後、この発言はおかしいと感じたことを書きつづけていました。

この当時、同和教育の解決は、国の責務であり、国民の課題として同和对策事業が実施され、学校では同和教育が推進されてきました。それは、部落差別によって、職業選択の自由、教育の機会均等、住居および移転の自由、結婚の自由など個人の基本的権利が著しく侵害されてきたからです。しかし、被害を受ける当事者の、解決を願う熱い思いとは裏腹に、同和对策事業に対する反発や同和教育迷惑論があったのも事実でした。その後、特別措置法としての同和对策事業は、一定の成果を上げたとして平成14年に終了しましたが、部落差別を根本的になくすための営みは引き継がれ、学校教育や行政、住民の力で、人権教育や啓発活動が現在も推進されています。

地域人権教育指導員 林 紀行

しそうな表情で私に話しかけてくれました。それは、娘さんが近々結婚式を挙げるとの内容でした。心から安堵した声と笑顔での報告です。結婚に至るまでの経緯を次のように話されました。「相手の青年が、娘と一緒に家を訪ねてきました。それで、娘との結婚を承諾したので。そのことを近所の友人に話すと、「相手に、きちんと部落のことを話しておいたがよい」と助言されました。そこで、娘に青年と話をしたいと伝えました。娘は自分が話をするといいま

すので、本人に任せました。青年は、『福岡で部落差別についての授業を受けてきた。高校の先生は、熱心に同和教育の授業をされた。自分も部落差別そのものがおかしと思っています』と話したことを娘が報告してくれました」と。娘さんの小学校時代を知っている私にとってもうれしい報告でした。彼女の自立した行動とそれを受け止めた青年の言葉には、多くのことを学んで成長する子どもたちの姿が重なりました。

身を近なところであられる会話は、予断や偏見が含まれていることが多々あります。それに気付かないで判断・行動する誤りが、社会全体で重大な人権侵害をもたらしてききました。だからこそ、同和教育を考えたうえで家庭を築くことに踏み切った若者や親戚を説得された方の行動は、私たちに多くの示唆を与えています。それは、当事者の思いに触れ、正しく学んだことを基に判断することが、喜びの共有につながっているからです。

謙虚に学び、行動する勇気から生まれた結果は、人間的で温かいものだと思えました。それ故に、その歩みをさらに力強く進めていきたいと思えます。

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

第5回 安藤博人・則子 夫婦展

期間 ~7月5日(日)

ゴッホ、シャガール、デュフィなどの水彩画模写と熊日プラネットに掲載した「島日和」の野鳥写真を展示します。

菊池市旧市街地の「記憶の記録:写真」展

期間 7月7日(火)~20日(月)

平成25年度から菊池市の事業で収集した、大正~昭和初期の菊池市旧市街地の街並みや祭りなどの写真を展示します。



まちかど資料館企画展「菊池川流域の隠れ切支丹遺跡展」

期間 ~7月26日(日)

開館時間 午前9時~午後5時

※休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

春山千草水墨画展「山頭火放浪」

期間 ~7月20日(月)祝

長い放浪生活。大自然に埋没し、自身を見つめる日々。漂泊流転の境涯から独自の句境を開拓した山頭火を描いた水墨画展を開催します。ぜひご覧ください。



古川兵衛井手紙芝居

期間 7月22日(水)~29日(水)

平成15年、菊池北小4年生が地域学習で学んだ古川兵衛井手の歴史の版画を制作。この版画を基に先人の偉大な遺産を後世に伝えるため作られた紙芝居の鑑賞会を開催します。ご家族で気軽にお越しください。



開館時間 午前9時~午後6時

※期間中の閉館日はありません。

ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先 さくちふるさと水源交流館 ☎0968(27)0102

「熊日菊池桜マラソン大会」には毎年多くの人が参加していて、走ることを楽しむ人が増えている印象を受けます。手軽に始められるところが人気の理由ではないでしょうか。

ところで、マラソンといえば秋から春の「暑くない時期」がシーズン。夏の時期はオフかと思いきや、秋冬の大会に向けての体力づくりの時期です。そのため「より涼しく走れるコース」を探しているランナーも多いようです。

そこで注目されているのが、昼間でも道沿いに木陰がある里山のコース。しかも、峠を走るとは、スピードと持久力を同時に鍛える効果的なトレーニングとして推奨している専門家もいます。

現在、菊池のマラソン愛好家グループ「まりちゃんず」(富永勝男代表)が中心となり、水源地区でのマラソン練習コースを整備しています。秋にはコースの体験会も実施します。マラソン愛好家の参加をお待ちしています。



熊日菊池桜マラソン大会

韓国発見シリーズ④ 韓国短歌「詩調」

日本の短歌に似たもので、韓国には伝統詩「時調」がある。これは「時節歌調」の略で、その時代のはやり歌や歌詞という意味だ。

3章6句約45字の形式で、音数は三四調または四四調を基本とし、初章、中章、終章で構成される。各章の文字数は多少の字余りや字足らずは大目に見られるが、終章の初句は必ず3文字にしなければならない。

時調が始まった高麗中期から朝鮮初期の一般的な主題は、儒教と自然への礼賛である。儒教を主題とした場合、忠誠な臣下は2人の王に仕えないという時調が多かった。自然への礼賛の場合、自然の美しさと、そこから学べる人間が持つべき徳を特徴とする。代表的な作品として、相手に対して変わらない忠節や信頼を表現する句がある。

花はなぜ咲き儂く散り
草はなぜたやすく枯れるのか
おそらく変らないのは岩だけか
と思う



時調は1895年を境に古詩調と現代時調に分けられる。現代時調には題目が登場し、行を区分する。代表的な作品として次の句がある。

「開化」
花が咲く 一輪一輪
空が 澄みわたる
最後に残った 花びらが
震える 刹那
風もひかりも かたずをのむ
私もそっと かたずを飲む

時調を学ぶ最善の方法は、短歌のように状況を思い描きながら自由に書くこと。時間がたてば、家族や友人と楽しめる時調を書くことができるだろう。自分の心や思いを時調に表現してみよう。

料理を楽しむために料理人になる必要がないように、時調を書くのに文章の天才になる必要はない。ただ心の中にある思いを韻律に合わせて書いてみよう。時調をもらった人も、相手からの素直な気持ちや思いを感じてみよう。間違いなく心が温まるだろう。